

- イ. 講演
- ウ. 演習
 - (ア) 研究計画発表会、中間報告会、研究報告会
 - (イ) 他校参観（授業研究）
- エ. 相談
 - (ア) 研究計画
 - (イ) 研究のすすめ方、まとめ方

(4) 研究主題と研究者

- ① 国語
 - 指示語、接続語をおさえての読解指導
西白河 羽太小 齋藤 哲夫
 - 国語科における効果的なプログラム学習の導入
門田小 皆川 隆夫
 - 説明的文章の論旨を的確に読みとらせるための指導法
岳陽中 三津間 安宏
 - 主題意識により統一された意見文を書かせる指導
平三中 渡部 祐亨
- ② 社会
 - 課題意識を高めながら思考力をつける指導法の研究
本宮小 紺野 幸
 - 学習過程における資料の活用
柳津小 熊田 光意
 - 問題解決の意欲を高めるための指導法
須釜中 高木 義男
 - 実態に即した社会科学習方法訓練についての研究
小野中 安藤 寿子
- ③ 算数・数学
 - 数学的な考え方をのばすための指導
二本松南小 太田 喜郎
 - 関数的な見方、考え方を育てる指導
須賀川二小 高橋 明
 - 文章題を解く力を伸ばす指導法
船引小 今泉 忠司
 - 問題解決力を高める指導法の研究
行健中 丹治 勇
- ④ 理科
 - 6年教材「ヨーター」における原理や法則のたしかな理解と定着をはかる学習指導法
藤田小 樋口 清光
 - 家庭学習を有効に授業にとり入れた理科の学習指導
朝日中 山本 洋一郎
- ⑤ 英語
 - 学力差を考慮した英語科学習指導法の研究
白河中央中 星 輝夫
 - 英語科における「書く事」の指導
一箕中 菅家 省三
- ⑥ 生徒指導
 - 学級会活動における話し合い活動を活発にさせるための指導
八沢小 佐藤 信義
 - 学級における生徒の指導性を育てる指導
近津中 坂本 善一
 - 活発な係の活動を育てる指導
西会津中 鈴木 司
 - 将来に夢をもたせる教育相談
苅野中 佐々木 清人

(5) 研修担当者

- ① 講義
 - ア. 教育研究（佐藤好秋・若林宏道）
 - イ. 教育調査（河野利作）

- ウ. 教育方法（佐藤好秋・茂木利夫・鈴木忠良・村田吉三・嶋田二郎）
- エ. 教育心理（樽井和雄・鈴木茂樹・酒井春雄）
- ② 相談
 - ア. 国語（鈴木忠良・樽井和雄）
 - イ. 社会（若林宏道・村田吉三）
 - ウ. 算数数学（河野利作・茂木利夫）
 - エ. 理科（鈴木茂樹）
 - オ. 英語（酒井春雄）
 - カ. 生徒指導（佐藤好秋・嶋田二郎）

(6) 特別講演

- ① 県下における学校教育の諸問題
県教育庁義務教育課主幹 天野 幸夫
- ② 学習指導について
郡山女子大学短期大学部講師 長谷川 寿郎
- ③ 指導者として研修について
福島市社会教育委員 今井 豊蔵
- ④ 教師の使命感について
日本赤十字社福島支部 青木 喜八郎

3 教育相談

(1) 目的

教職員、学校、教育研究団体の研究活動を推進するため、特に教育研究のすすめかた、教育調査ならびに処理の方法、および学習指導に関する問題等について積極的に現場の相談に応じる。

(2) 実施した相談事項

文書、来所者に対しての相談と、出張による相談をつぎのとおり実施した。

- ① 文書、来所者の相談件数 63件
 - ② 出張による相談件数
 - ア. 国語 18件
 - イ. 社会 4件
 - ウ. 算数数学 2件
 - エ. 英語 14件
 - オ. 学校経営 5件
 - カ. 教育研究 10件
 - キ. 学習指導 2件
- 相談総件数 118件

③ その他

昭和43年度は、特に福島大学教育学部、福島女子短期大学学生が来所し、研究に関しての相談、あるいは図書の利用が多くおこなわれるようになったのが大きな特色である。

第4節 付属図書館

教育研究所の付属施設としての図書室は内容の充実と簡単な貸出し方法により、その利用を深めている。

本年度は新たに135冊の教育図書が加えられ10,276冊の蔵書となり、外に名県研究紀要、各学校実践記録、研究書、各教科資料と併せて研修に役立つ図書室となっている。

次に昭和43年度に購入した図書を掲げる。

著名	著編者	発行所
山形県戦後教育実践の史的研究		山形県教育研究所
教員生活50年	栗村虎雄	民友新聞社
西ヨーロッパの教育と風土	相川勝衛	東洋館
小学校社会科学習指導法		文部省
落伍者をつくらぬ指導法	白形重男	明治図書